



《北海道遺産》  
上ノ国の中世の館<sup>たて</sup>  
(上ノ国町)

中世の史実を海に開けた山頂で感じとる

史跡上之国館跡の一つである上ノ国町の夷王山中腹に広がる山城「勝山館」跡。松前藩の祖とされる武田信廣が1470年頃に天の川左岸の中心部で標高100メートルの丘陵に築いた館跡で、16世紀にかけて機能し軍事・政治・北方貿易の拠点とされていた。発掘調査では数多くの住居や出土遺物のほか、アイヌが使用した骨角器や和人墓と隣接したアイヌ墓がみついている。また、史跡指定地内に建てられた「勝山館跡ガイダンス施設」では、出土品や復元された館の模型及び墓のレプリカを見学することができる。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

【写真】上ノ国勝山館

## INDEX

- 3 令和4年度第4回理事会開催される
- 4~7 令和4年度上期北海道地区印刷協議会開催される
- 8 北印工組集団扱自動車保険のご案内
- 9 来年4月から月60時間を超える時間外労働割増賃金率引上げのお知らせ
- 10 HOPE2022のご案内
- 10 業界のうごき

### 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# 令和4年度事業スケジュールを承認 第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会 令和5年8月25日開催

## 令和4年度第4回理事会

令和4年度第4回理事会が、6月17日午後1時から札幌市中央区の札幌パークホテルで理事11人が出席して開催され、令和4年度事業スケジュール等を決定し、来年の第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会を8月25日に開催することとした。

**理** 事会は、岸理事長のあいさつの後、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として、

(1)事業実施状況について、本年度のこれまでの事業実施状況を北印工組、全印工連、関連団体に大別して説明された。

(2)財務状況について、5月末の貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況について説明された。

次に、議事に移り、

(1)令和4年度上期北海道地区印刷協議会の運営について、参加者ならびに進行スケジュールが説明され、承認された。

(2)令和4年度事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、「印刷の月」行事の取組、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会の開催準備を柱とした、それぞれの実施事業の内容、実施スケジュールについて説明され、承認された。

そのなかで、来年開催の第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会について、開催日程を旭川支部長より8月25日と発表された。



(3)組員名簿の製作について、2年毎に作製している組員名簿を本年度作製するため、印刷発注業者を組員に公募することが決定された。

また、名簿には組員・賛助会員は、ホームページURL、e-mailアドレス、各社の特長を、本年度も継続して掲載することとした。

(4)令和4年度会議日程について、本年度の理事会、下期北海道地区印刷協議会の開催日程が決定された。

理事会は、第5回10月14日、第6回1月10日、第7回3月2日、下期北海道地区印刷協議会は3月2日になる。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況ならびに近況について報告が行われ、理事会を終了した。

# SR調達で不毛な価格競争を打破!!

## 令和4年度上期北海道地区印刷協議会

令和4年度上期北海道地区印刷協議会が、6月17日午後2時から札幌市中央区の札幌パークホテルで3年振りに対面式で開催され、全印工連から瀬田副会長、浜田常務理事、長島事務局長と組合員ならびに賛助会員約30人が出席して全体会議、委員会、総括会議、情報交流会を行い、組合事業の理解を深め、組合加入のメリットを追求した。

### 全体会議



岸 昌洋  
理事長

**全**体会議は、最初に岸昌洋理事長が、「3年振りにこうやって皆さんと会って地区協を開催する。地区協の役割というか位置づけを改めて話をさせていただくと、北海道印刷工業組合、全印工連がどうということを考えて何を皆さんに提供しようとしている

かを、各委員会に分かれて協議いただく。こうした方が良いのではないか、これが足りないのではないか、これをもっと推進した方が良いのではないかという意見をいただき、本部に伝えていく。この循環を行いながら皆さんにより良いサービス、組合としての優位性を伝えていく。今日、賛助会員のメーカー、ベンダーと一緒に協議をさせていただくが、さまざまな値上げ等々が止まらない状況が続いている。こういうときだからこそ組合としてさまざまなサービスを皆さんのお客さんに提供できるようにして、皆さんが活性化できるための、一助になればと開催させていただく」とあいさつを述べた。



瀬田章弘 氏

次に、瀬田章弘全印工連副会長が、「私は、東京の下町で印刷会社を経営しているが、なかなか難しい経営の局面になったと感じている。皆さんもおそらく同じような思いでいると思っています。全印工連はこの2年間、コロナのなかでもさまざまな事業を展開している。私が知る限りでは、いろいろな産業団体があるが、全印工連が一番動いていたのではないかと感じている。今日、委員会でいろいろな報告があると思うが、事業の情報共有をしていただいて、また情報というのは掘み取りにいかないとならない。待ってでは来ない。是非、貴重な機会であるので情報を捉えていただきたい。私の方から冒頭いくつかの話をさせていただく。さまざまな事業のなかで特に4つを中心に展開してきたし、これからも展開していく。1つ目はデジタルトランスフォーメーションである。先般行われた経産省の我々の産業のリサーチ結果でも、印刷業は需要に対し供給が多過ぎる。ここをもう少し統合した方が良



いし、統合したうえで稼働率を上げていかないと収益が出ないし、新しい機械も買えないと指摘されたが、私も同感である。そのためにDX-PLATを利用して、皆さんの工場と皆さんの営業をつなぐことを実施していきたい。これを行うとさまざまな取引データが蓄積される。データは21世紀の石油といわれているが、デジタルデータが蓄積され、それをどう使うかということで新たな価値が生まれてくる。こちらは産業戦略デザイン室とDX推進PTで推進していくので、情報をしっかり掴んでいただくとともに、是非参加していただきたい。2つ目がカーボンニュートラルである。我が国も宣言をした。今、政府では新しい言葉としてGX（グリーントランスフォーメーション）が出て、各産業でカーボンオフセット、カーボンニュートラル、CO<sub>2</sub>削減をしてほしいと言っている。我々、全印工連では環境労務委員会で、環境対策を行ってきたが、環境というのはどうしても守りのイメージが強い事業であるが、これを攻めにしていく。我々が積極的に環境対策をすることで、そうでない会社と差別化して仕事をどんどん増やしていただきたい。お客さんにどんどんピーアールして、当社に仕事をするとカーボンニュートラルに対応できる、カーボンオフセットが進むというようなことを皆さんの会社が進められるように環境労務委員会で戦略を作る。またPTを立ち上げた。こちらでカーボンニュートラルをどうやって戦略として立ち上げていくかを用意して皆さんに届ける。3つ目が印カレである。動画配信を行っている。企業は人成りである。我々経営者もそうであるし、社員が勉強して、今、リカレント教育といわれるが、学び直しをして新

たな戦力になってもらいたい。ただ勉強しろと言ってもなかなか難しいので、印カレの動画サイトにどんどんそのようなプログラムを配信していく。全印工連のメンバーであれば無料でいつでもどこでも、スマホでもPCでも見ることができる。仕事の合間や会社の集合研修で利用も可能である。4つ目がSR調達という考え方である。各自治体で、入札において価格だけで我々を締め付けている実態がある。欧州ではもうそういう時代ではないし、価格は安い方が良さだろうがそうではなく、真っ当な会社に発注していただく。きちんと頑張って地域貢献している会社に優先的に発注していただく。このような制度を自治体にどんどん取り上げてもらいたい。いくつかの自治体では始めたとは聞いているが、今後これらの情報を提供していく。DX、カーボンニュートラルの対応、動画配信サイト、SR調達である。今は厳しいが、先々、将来は大丈夫と種を蒔いていただきたい。このような事業を通じて皆さんの会社の売上が伸びて収益が上がって、さらに発展していただけるように、一生懸命頑張るので、協力をいただきたい」と述べた。



長島文雄氏

次に、長島文雄全印工連事務局長から、①全印工連の令和4年度事業計画、②「官公需における随意契約と一般競争入札に関するアンケート」結果、③全印工連特別ライセンスプログラム事業の契約更新、新規募集、④全印工連フォーラム、CSRサミットの開催について説明が行われた。

つづいて、調達の将来像について～社会課題解決に寄与するSR調達～の研修が行われ、最初に、瀬田副会長から「SR調達は価格だけでなく、それ以外の価値で発注してほしいということである。それ以外というのは、その会社が地域貢献、社会貢献をどれだけしているのかを考慮し、社会に役立っている会社に発注してほしいという考え方である。欧州ではこの考えが主流になっている。SDGs、CSRが世界的に広がっているが、これに則って日本もまず行政が、行政を見習って民間も価格だけでなく、こういう社会を作るためには調達をどのようにやるかによって社会は変わるという考え方である」と前置きし、動画が上映された。その後、再び瀬田副会長が「政府のなかにもこういう考えでない日本は良くならないと考えている現実がある。そうは言ってもきれいごとでなかなか実現は難しいと思った方も多いと思う。しかし、不毛な価格競争はやりたくない。どこへ行っても見積りを出し、もっと安いところがあるという、こんな商売はやっていても面白くない。もう1つは社員のため、自分の子供

たちのため、周りの子供たちのために良い社会を残していきたい。そのときに地元には課題がある。その課題をどう解決するのか。行政も予算が削られ力が無くなってきている。民間の力を使わざるを得ない。そうであれば一緒に解決していこう。解決するにあたっては、そこでいろいろな予算が動くので、これはこういう会社に出すように使ってほしいと言えるわけである。そういうアクションをしていただきたい。これは2つの側面があって、1つは我々自身が社会に選ばれる会社にならなくてはならない。自分の金儲けばかりを考えている会社はサステナブルにはならない。自分の会社が皆さんから選ばれる会社になるように襟を正して変えていく。もう1つは政治力が必要になってくるので、我々は衆参120名を超える国会議員が参画する議員連盟の政治団体を持っている。こと連携して、まずは政府から実行してもらおう。皆さんは自治体のいろいろな方とつながりがあると思うので、そういう方にこうやっていき、一緒に地域の課題を解決していこう。調達のやり方も変えてくださいということをお願いしたい。こういうアクションを全国津々浦々でやることによって一つの大きな流れが出てくる。長い戦いにはなと思うが、不毛な価格競争はやりたくない。我々のビジネスのやり方と調達側の調達のやり方も一緒に変えていくことが大切である」と訴えた。

#### 委員会

組織共済、経営革新マーケティング、教育研修、環境労務の4委員会に分かれ、報告事項、依頼事項、協議事項、数値目標等について、情報提供、意見交換が行われた。

#### 総括会議

各委員会の討議事項について、各委員長から発表が行われ、それを受けて、岸理事長が総括を行い、浜田常務理事、瀬田副会長から感想所見が述べられた。

#### 組織共済委員会 植平有治委員長

今回は6名の方に出席していただいた。活発な意見交換が行われた。報告事項から始まり、令和3年度組合員加入実績工組ということで宮城県工組が2社増、千葉県工組が1社増で表彰を受けた。共済制度の加入状況は、北海道は生命共済が16社196人で10%、せつび共済は10社で11%、医療・がん・介護共済は17人で53%の加入状況である。4年度の共済加入キャンペーン重点工組は15工組が指名された。

植平有治  
委員長

北海道は入っていないが同じように運動は続けていかなければならない。依頼事項は、今年、2年に1回の組合員台帳調査がある。8月上旬に調査票を配布し9月末が提出期限になるのでお願いしたい。前回、北海道は97.8%の提出率であった。前々回は93.8%で、目標は100%であるので何とか近づけていきたい。クラウドバックアップサービスの加入増強は、現在加入が全国で33社であり、各地区で1社増を目指す。安否確認システムの周知拡大を行う。医療・がん・介護共済の加入増を図る。協議事項は各支部の話を伺った。組合員の加入促進は厳しいのが実状である。組合のメリットが無いということが多かった。組合のメリットというのは受けるのではなく、組合に入ることによって積極的に事業を行うことによって満たされる。組合の事業内容をしっかり相手に伝えていくべきである。共済制度の加入促進ではネット等で簡単に加入できるように検討してほしいという意見が出た。業界自体が減っているなかで、新規の加入を求めるのは厳しいが、運動をやっていかないと衰退するのは目に見えている。

#### 経営革新マーケティング委員会 岡部信吾委員長



岡部信吾  
委員長

今回は6名に参加いただいた。報告事項として、3つの支援事業を行うことを説明した。経営革新支援事業と事業承継支援事業、マーケティング支援事業である。経営革新支援事業はDX推進と事例研究、情報発信、MISの導入・活用、活性化に向けた支援展開、事業領域拡大のための情報提供、新勝ち残り宿舎ゼミの開催。事業承継支援事業は事業承継支援センターの活用啓発、事業承継ガイドブックの周知、印刷業界のための事業承継セミナーの開催、サステナブルな事業経営の推進、地域創生事業の活性化、印刷業経営動向実態調査の結果公表、CSR認定事業の普及啓発。マーケティング支援事業はデザイン経営の事例発表、セミナー開催、情報発信、異業種同業種のマーケティングの事例研究、情報発信、共創ネットワーク通信の活性化である。依頼事項として、東京で開催されるセミナーのオンライン参加を各支部で周知してほしい。印カレに事業承継の動画を掲載していく。SDGs・カーボンニュートラルの情報を多く発信してほしいと要望があった。

#### 教育研修委員会 矢吹英俊委員長



矢吹英俊  
委員長

報告事項として、DTP技能検定は北海道で5人が受検し2人が技能士になった。依頼事項は、印刷営業講座・技能審査認定試験は今までは現地集合で15名以上でないと開催できなかったが、今回からオンライン開催が

可能となり、他地域と合わせて15人以上で開催できるので、検討を進めていく。印カレの動画作成を進めていき、周知を図っていく。特別ライセンスプログラムは賛助会員の力を借りて周知を図っていく。組合支援セミナー・JPPS・マイウォッチャーは周知・啓発を進めていく。

#### 環境労務委員会 大和繁樹委員長



大和繁樹  
委員長

報告事項として、6月までの雇用調整助成金が9月まで延長される。10月以降については8月に厚労省から発表される予定になっている。パワーハラスメント防止措置は今年4月1日から中小企業も義務化となっている。36協定で定める時間外労働・休日労働に留意いただきたい。長時間労働について法令改正が行われているので注意いただきたい。依頼事項では、中小印刷業モデル就業規則2021を購入いただいて各社の就業規則の参考にしてほしい。北海道でも一度開催した「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正セミナー」を再度の開催を検討できればと思うが、毎年のように法改正が行われているので注意いただきたい。幸せな働き方改革もステップ5まで用意されているので活用いただきたい。環境マネジメントシステム認証・認定制度の普及ではGP、環境推進工場、環境マネジメントシステムの3つがある。日印産連環境優良工場表彰にも応募してほしい。

#### 岸理事長総括

組織共済委員会は、各県工組でいろいろな共済事業をやっている。北海道も独自の共済をやっている。「北海道の印刷」と一緒にパンフレットを送っているが、分かりづらいこともあると思うので、その際は事務局に問い合わせしてほしい。スケールメリットにより得な制度がたくさんあるので、組合のメリット感が相当出てくる。

経営革新マーケティング委員会は、事業承継は地方都市では取組が難しいことや自社では解決できないことがあるので、決して敷居の高いところでないので事業承継センターを活用してほしい。相談は無料である。CSR認定はSR調達にも結び付く。各支部で自治体にSR調達の話を持ち掛けて安値受注を食い止める働きを行っていただきたい。

教育研修委員会は、さまざま検定を取り揃えているし、印カレの動画サイトは営業から現場までの多量の動画があるので視聴してほしい。全印工連特別ライセンスプログラムは圧倒的な価格差があるので、これは大きなスケールメリットになるので活用しない手はない。

環境労務委員会は、就業規則は時代の変遷で法令や条例が目まぐるしく変わっているので、きちんと見

直しをしていかないとならないのでモデル就業規則を参考にしてほしい。

カーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーションは、印刷業界が推進してどうのこうのという話でなく、国が推進していることに我々がどう寄り添っていくかということである。カーボンニュートラルは国際間の決め事なので、これに各社が対応できなければ、退場しなければならなくなる。

今回、青年部委員会が開催できなかったが、各地の若い人に参加してほしい。

HOPE2022は、9月7日・8日に開催する。初めての平日開催になる。働き方改革の一環で、土曜日に休日出勤させてHOPEに行かせることは難しくなってきたのと、出展社の社員も働き方改革のなかにいるので対応が必要であり、平日開催にした。

#### 浜田 彰常務理事感想所見



浜田 彰氏

全印工連の組織共済委員長を拝命している浜田です。組織共済委員会に出席させていただき活発な意見交換が行われ、非常に有意義な時間であった。厳しい状況がつづいているが、広大な北海道で90人の組合員の方々が一堂に会するのは地理的に難しいこともある。北海道工組はこの4年間組合員の減少もほとんどない全国でも数少ない工組である。印刷業界はコロナや原材料高騰のなか満身創痍で頑張っている。2030年札幌冬季五輪に立候補を行おうとしている。東京では昨年、2020五輪を開催したが、非常に消化不良で、やったのかやっていないのか分からない印象が残った結果になった。是非、札幌開催を実現して、北海道の景気を回復して、東京のリベンジをしていただきたい。

#### 瀬田副会長感想所見

私も組織共済委員会で各支部の現状を聞かせていただき、大変参考になった。皆さん、今、経営をしていて大変だと思う。私も大変である。日本電産の永守会長兼CEOは77歳であるが、日本一の会社を作ると

今でも言われている。永守さんは問題があるから経営者が必要で居る。問題がなかったら経営者は要らないと言っている。まさにそうだと思う。今、非常に難しいときで問題がたくさんあって、正に我々経営者の手腕が活かされるときである。永守さんは、足元悲観、将来楽観とも言っている。足元は現実を見て厳しいことがたくさんあって、1つずつ潰していかないとならないが、将来は必ず良くなる。将来に種を蒔かないとならない。将来良くなるには端的に言う時代の流れに乗ることである。時代の流れは、1つはCSRである。SDGsがどんどん出てきていて、当社の取引先でもお宅は我が社のSDGsにどう貢献してくれるのかと問われている。これはチャンスである。当社はCSRをやっている、何々をやっている。やっていない会社との差が出てくる。もう1つはカーボンニュートラルである。我々のお客様はどんどんCO<sub>2</sub>を削減している。そのときに数ある仕入先に対し、どう貢献してくれるのか必ず問われる。問われる前に当社ではこうやってカーボンオフセット、カーボンニュートラルができるということはチャンスである。全印工連は今年から三役会直結でカーボンニュートラルPTを組織した。カーボンニュートラルが戦略として、皆さんの会社の売上・利益が上がるためのプロジェクトを立ち上げた。PTには有識者がいるので、情報を受けとって自社の経営に役立てていただきたい。最後は当然であるがDXである。アメリカでもそうであるが10年掛かるといわれている。今、米国で絶好調で時価総額が上がっている会社は10年前からDXを行っている。駄目になった会社は何をしたかということ、リストラや合理化をした。縮小均衡をやってしまった。我々も10年先に向けてやっていかなければならない。やっていくなかでいろいろと分かってくる。分かってからやるのでは遅い。今は、分かってからやるのではなく、やって分かる時代といわれている。全印工連は、やる気のある会社、汗をかく会社のためのいろいろなプログラムを提供していくので、いろいろな意見をいただいて希望のある未来の突破口を見出していきたい。

# 北印工組集団扱自動車保険のご案内

北海道印刷工業組合の皆さまへ

## 一般契約と比べて割安!

集団扱の分割払契約は分割割増なし。  
一括払なら、一般契約の一時払に比べて5%割安です。

## 払込みは便利な口座振替!

初回の保険料は原則始期日から  
2か月後の口座振替となります。



## 等級（等級別割引・割増制度）はそのまま継承できます!

他の保険会社や、JA共済、全労済からの  
切替もOKです（一部の共済を除きます）。

## ご本人以外のお車でも、 下記の条件を満たすお車であればご加入いただけます!

### I. 保険契約者が下記の場合

- (1) 集団の所属員（下記①～⑤のいずれかの方）
- ① 集団の役員・従業員
  - ② 集団の構成員
  - ③ 前記②の役員・従業員
  - ④ 集団を構成する集団の構成員
  - ⑤ 前記④の役員・従業員
- (2) 集団自身

### II. 記名被保険者・ご契約のお車の所有者が下記の場合

- ① 保険契約者またはその構成員
- ② 保険契約者の役員・従業員
- ③ 上記①・②の配偶者
- ④ 上記①・②またはその配偶者の同居の親族
- ⑤ 上記①・②またはその配偶者の別居の扶養親族

ご契約にあたっては必ず各種自動車保険パンフレットおよび「重要事項のご説明」をあわせてご覧ください。  
また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、必要に応じて引受保険会社のホームページでご参照ください。もしくは、代理店・扱者または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、代理店・扱者または引受保険会社にお問合わせください。

#### ■取扱代理店

お問い合わせはお電話にて、お気軽にどうぞ!!

**株式会社プロット** 担当者：田中春二

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東4丁目1番地1

TEL: 011-700-1020 / FAX: 011-700-1021

#### ■引受保険会社

**あいおいニッセイ同和損害保険株式会社**  
札幌支店 札幌第一支社

〒060-8553 札幌市北区北七条西5丁目5番3号

TEL: 011-728-1314 / FAX: 011-728-1354

(2019年10月承認)GB19A011004

2023年4月1日から

# 月60時間を超える時間外労働の 割増賃金率が引き上げられます

## ◆改正のポイント

中小企業の月60時間超の時間外労働に対する割増賃金率が50%になります

(2023年3月31日まで)

月60時間超の残業割増賃金率  
大企業は 50% (2010年4月から適用)  
中小企業は 25%

	1か月の時間外労働 〔1日8時間・1週40時間 を超える労働時間〕	
	60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%
中小企業	25%	25%

(2023年4月1日から)

月60時間超の残業割増賃金率  
大企業、中小企業ともに50%  
※中小企業の割増賃金率を上げ

	1か月の時間外労働 〔1日8時間・1週40時間 を超える労働時間〕	
	60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%
中小企業	25%	50%

➤2023年4月1日から労働させた時間について、割増賃金の引き上げの対象となります。

(※) 中小企業に該当するかは、①または②を満たすかどうかで企業単位で判断されます。

業種	① 資本金の額または出資の総額	② 常時使用する労働者数
小売業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
上記以外のその他の業種	3億円以下	300人以下

# HOPE2022のご案内

HOPE2022が、「INSATSU未来トランスフォーメーション」をテーマに、9月7日(水)・8日(木)の2日間、札幌市白石区のアksesサッポロで、新型コロナウイルス感染防止に最大限の配慮を行い開催される。

今回から、働き方改革に対応し、平日開催となる。

会期中、基調講演・テクニカルセミナー・出展社企画セミナーが開催される。

日 時 / 令和4年 9月7日(水) 10:00~17:00

8日(木) 10:00~16:00

会 場 / Aksesサッポロ Dホール (札幌市白石区流通センター4丁目3-55)

詳細は、次号で紹介します。

## 業 界 の う ご き

### ▶(株)パスカル・プリンティング社長に前田憲之氏

株式会社パスカル・プリンティング(札幌市西区発寒16条14丁目4番5号)は、このたび、西智樹社長が代表取締役会長に就任し、新しく代表取締役社長に前田憲之氏が就任した。

### ▶ソーゴー印刷(株)が(株)クナウパブリッシングに社名変更

ソーゴー印刷株式会社(高原淳社長/帯広市西16条北1丁目25番地)は、6月1日から、社名を株式会社クナウパブリッシングに変更した。

### ▶北海道紙器段ボール箱工業組合理事長に森川唯志氏

北海道紙器段ボール箱工業組合(札幌市中央区北4条西12丁目1番地37)は、このたび、守田敏治理事長が任期満了により退任し、新しく理事長に森川唯志氏(森川総合紙器株式会社)が就任した。

### ▶北海道スクリーン・デジタル印刷協同組合理事長に石田勝年氏

北海道スクリーン・デジタル印刷協同組合は、このたび、氏家界平理事長が任期満了により退任し、新しく理事長に石田勝年氏(七欧産業株式会社)が就任した。

### ▶富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)北海道支社長に沢辺和浩氏

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社北海道支社(札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フイルム札幌ビル)は、このたび、成島孝支社長に代わり、新しく支社長に沢辺和浩氏が就任した。



# HOPE 2022

HOKKAIDO PRINT EXPO



## INSATSU



テーマ

### INSATSU未来トランスフォーメーション

日時 令和4年9月7日水・8日木

10:00~  
17:00  
(8日は16:00終了)

会場 アクセスサッポロ  
札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

展示会

セミナー  
7セッション



主催: HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合・北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合・北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会  
北海道紙器段ボール箱工業組合

後援: 経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市・北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所・北海道中小企業家同友会

協賛: 株式会社印刷出版研究所・株式会社日本印刷新聞社・ニュープリンティング株式会社